

平成22年度事務事業評価シート①（評価対象：平成21年度事業）

事務事業名	一時借入事務	事務事業No.	586
【基本情報】			
実施義務	<input type="checkbox"/> 義務事業（法律で実施が義務づけられている） <input checked="" type="checkbox"/> 任意事業（ <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例 <input checked="" type="checkbox"/> 規則・規程・要綱 <input type="checkbox"/> なし）		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> あり（地方自治法、小金井市予算事務規則、小金井市会計管理者の補助組織に関する規則等） <input type="checkbox"/> なし		
種別	<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 窓ソフト <input type="checkbox"/> 施設の管理・運営 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間） <input type="checkbox"/> 全部委託（ <input type="checkbox"/> 公共的団体 <input type="checkbox"/> 民間）		
共通課題	<input type="checkbox"/> 環境関連 <input type="checkbox"/> 男女共同参画関連 <input type="checkbox"/> 情報化関連 <input type="checkbox"/> 市民協働関連		
担当部	会計管理者	担当課	会計課
		担当課長	林 文男

【総合計画における位置づけ】

レベル1(柱)	レベル2(施策)	レベル3(施策)	レベル4(施策)
基本構想実現のために	財政の健全化	歳出の適正化	財政運営の効率化

【事業概要】

目的 (何のために)	一時借入によって歳計現金の不足を補うため。
対象 (誰・何を対象に)	歳計現金に不足が生じる場合。
手段・方法 (内容、やり方等)	指定金融機関から約束手形により現金を一時借入れる。
活動実績 (事業の結果等)	<p>平成21年度の本事務事業の目標は何か。 <input checked="" type="checkbox"/>目標がある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>目標がない(ない理由を下欄に記入)</p> <p>(基金運用や繰替使用の実施により、歳計現金に不足が生じて赤字が発生することを防ぐ。)</p> <p>平成21年度の本事務事業の目標は達成できたか。 <input checked="" type="checkbox"/>達成できた(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>達成できなかった(できなかった理由を下欄に記入)</p> <p>(収支予定表等の作成により、赤字が発生する時期が判明したら、各課と連絡調整を素早くとり、高額の支払日を遅らせる等及び繰替運用をうまく活用することにより歳計現金に赤字を発生せずに済んだ。)</p> <p>平成21年度の事業の結果等(具体的内容を下欄に記入)</p> <p>(一時借入をしなくて済んだ。(過去10年間で、一時借入無しは初めてのこと。))</p>
見直し実績 (事業の改善、実施方法の見直し等)	<p>事業開始から現在までに実施方法の見直し等を行っているか。 <input checked="" type="checkbox"/>行っている(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>行っていない(行っていない理由を下欄に記入)</p> <p>(今年度は、歳計現金が大幅に不足する時期(4・5月)に、毎月提出される収支予定表を2カ月分(4・5月)提出させ資金計画を早めに立てた。)</p> <p>本事務事業に課題・問題点はあるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある(具体的内容を下欄に記入) <input type="checkbox"/>ない</p> <p>(現在、毎月の収支予定表と昨年の実績等で短期間の資金計画を立てているのが現状で、歳計現金不足を素早く把握できずに、それに対処する作業が間に合わない。)</p> <p>課題・問題点に対して見直しを行う必要があるか。 <input checked="" type="checkbox"/>ある →課題・問題点を見直す具体的手法は何か。(選択し具体的内容を下欄に記入、複数選択可) <input checked="" type="checkbox"/>庁内検討 <input type="checkbox"/>市民協働 <input type="checkbox"/>外部委託 <input type="checkbox"/>指定管理者 <input type="checkbox"/>その他 <input type="checkbox"/>ない(行わない理由を下欄に記入)</p> <p>(関係課との連絡調整(情報交換等)を行う場を設定し、長期的資金計画を立てることにより、一時借入を回避する。)</p>

平成22年度事務事業評価シート②（評価対象：平成21年度事業）

【総コスト指標】 (単位:円)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
事業費(決算額) ①	985,971	0	
当初予算額	7,203,000	6,118,000	2,000,000
決算額	985,971	0	
執行率	13.69%	0.00%	
人件費合計 ②	239,200	0	0
一般職員工数(人/年)	0.026	0.000	
一般職員人件費	239,200	0	0
再任用職員工数(人/年)	0.000	0.000	0.000
再任用職員人件費	0	0	0
嘱託職員人件費	0	0	0
歳出計 A(①+②)	1,225,171	0	2,000,000
国・都支出金の合計 ③	0	0	0
使用料・手数料の合計 ④	0	0	0
その他の合計 ⑤	0	0	0
歳入合計 B(③+④+⑤)	0	0	0

(単位:円)

純支出額 C(A-B)	1,225,171	0	2,000,000
市民1人当たりコスト (C/人口)	11,082	0.000	17,886
指標1当たりコスト (C/成果実績値)	408,390.333	#DIV/0!	2,000,000.000
指標2当たりコスト (C/成果実績値)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

【指標データ】

指標	活動量	名称	単位	値	20年度	21年度	22年度	
					目標値	実績値		
指標1	活動量	名称	一時借入金に対する利子の支払い。	千円	目標値	7,203	6,118	2,000
		説明	目標値(予算額)に対する実績値(利子の支払い)の目標達成(執行率)が低いほど良い。	実績値	986	0		
	成果	名称	一時借入金の借り入れ回数	回数	目標値	3	3	1
		説明		実績値	3	0		
指標2	活動量	名称			目標値			
		説明			実績値			
	成果	名称			目標値			
		説明			実績値			

【第1次評価】(事業担当課による分析・自主評価)

事業概要、予算概要、総コスト指標、指標データを踏まえた自主評価	
一時借入金をいかに少なくするかを目標に資金計画を立てなければいけないが、会計課のみでは限界があるので、関係課との連絡調整をとり長期的資金計画を立てる必要がある。(歳計現金不足が発生する時期を適正に把握し、これに対処すべき基金の繰り入れ時期、市債の借入時期を決めるなど。)	
今後の方針(活動量:平成23年度の活動量の方針)(予算:平成22年度と比較した平成23年度の予算の方針)	
活動量	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 委託化 <input type="checkbox"/> 協働化 <input type="checkbox"/> 情報化
予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止